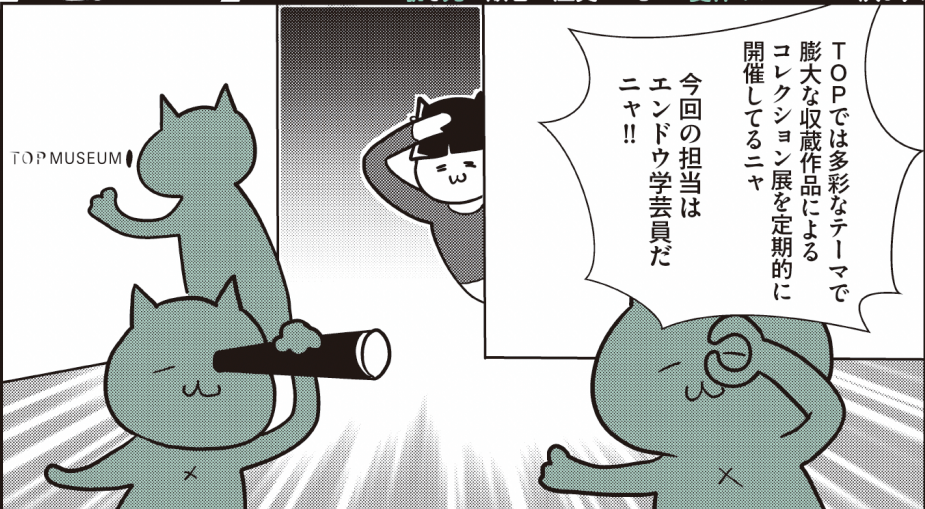


見るを可憐に描いて覗く。はらむる発見はここから生まれたんだニャ。



今回の担当は  
エンドウ学芸員だ  
ニャ!!

TOPでは多彩なテーマで  
膨大な収蔵作品による  
コレクション展を定期的  
に開催してるニャ



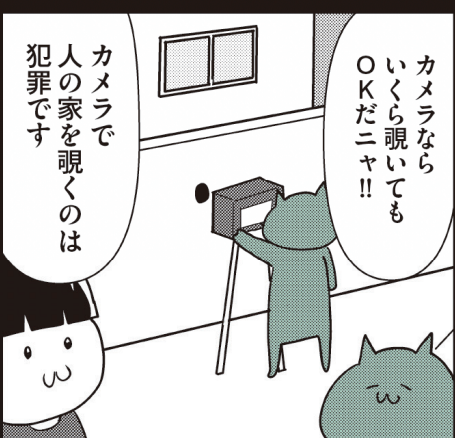
「覗き写真展」とは  
攻めまくってるな

そういう意味じゃ  
ありませんよ



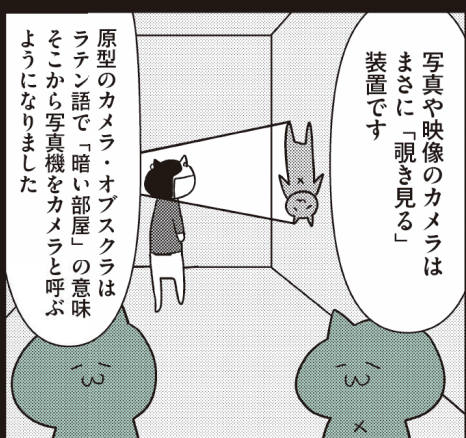
写真史・映像史を彩る  
豊富なコレクションから  
人々が「覗き見る」こと  
を可能にした装置と

「覗き見る」ことから  
想像力を広げた作家たちの  
多様な表現を紹介します



カメラなら  
いくら覗いても  
OKだニャ!!

カメラで  
人の家を覗くのは  
犯罪です



写真や映像のカメラは  
まさに「覗き見る」  
装置です

原型のカメラ・オブスクラは  
ラテン語で「暗い部屋」の意味  
そこから写真機をカメラと呼ぶ  
ようになりました



学芸員エドワード  
今回作者と同類の  
敗北女子と判明。



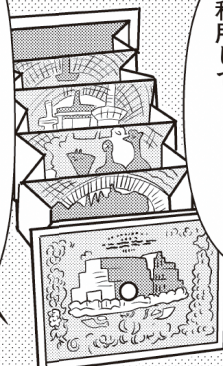
関羽  
勝ち負け知らずの  
当館広報見習い。



却津山春雄  
人生不戦敗が続く  
当館広報見習い。

関羽とキヤッツがこの夏楽しい略して  
「覗き見る」展を覗き見るニヤ。

18〜19世紀の欧米で  
流行したビープロショーも  
遠近法とレンズの効果を  
利用して



当時のポーパーパー  
ビープロショーを展示

覗き穴から箱の中の  
景色を楽しみました

顕微鏡や望遠鏡などの  
科学的な装置や

ステレオスコープのような  
立体視のための装置なども  
「覗き見る」ためのものです

当時の貴重な装置を実際に  
体験できるレプリカを交え  
各装置で使用された絵や写真  
を多数紹介

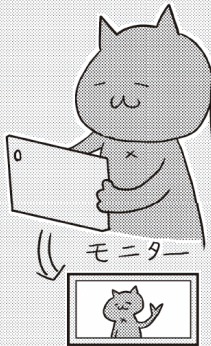
各時代の社会や文化にも  
触れていただけます

この展示で  
覗き見心を満たせる  
というわけだな

一生分  
覗き見できそう  
だニヤ!!

オレたちの夏は終わらない。「TOPコレクション」展は10月15日(日)まで3階展示室で開催中！  
見る「まなざしの系譜」展は10月15日(日)まで3階展示室で開催中！

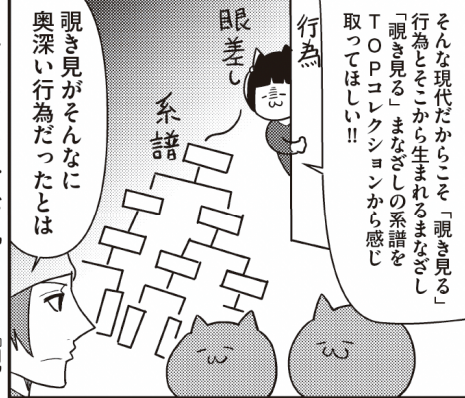
たしかにデジカメや  
スマホの普及で、モニター  
やディスプレイを見て撮影  
する場合も多く、覗き見る  
機会は減っていますね



そんな現代だからこそ「覗き見る」  
行為とそこから生まれるまなざし  
「覗き見る」まなざしの系譜を  
TOPコレクションから感じ  
取ってほしい!!

行為  
眼差し  
系譜

覗き見がそんなに  
奥深い行為だったとは



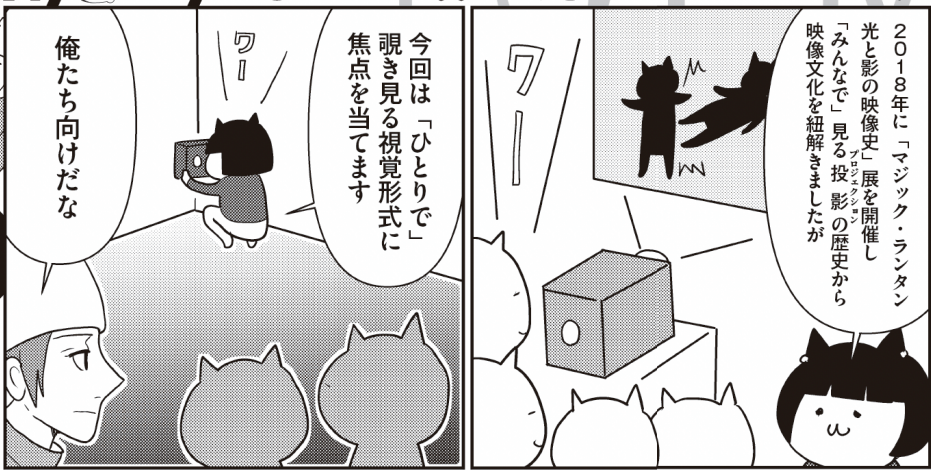
このニヤン画は？ モーニング(講談社) 発どこにいるのか聞いてもよくわからない漫画家&コラムニスト、カラー  
沢薫のデビュー作&代表作『クレムリン』出張版だニヤ、ニャオ(なお)、目下の代表作『ひとりでしにたい』はコミック  
DAYS(講談社)で大好評終活連載中。人生を真面目に考える漫画だニヤ。諸君、大いに読みたまへよ。

2018年に「マジック・ランタン  
光と影の映像史」展を開催し  
「みんなで見る」投影の歴史から  
映像文化を紐解きました

今回は「ひとり」で  
覗き見る視覚形式に  
焦点を当てます

俺たち向けだな

作者紹介  
長州に生まれ育つ。吉田松陰の松下村塾に学ぶ。母校の野球部応援に向かうバスの中で「人間失格」を読み耽り、人生が半ば決まる。いろいろ経て漫画家を志す。モーニングの新人賞に本名「無題」で応募した作品が最終選考であえなく落選するもカレー 沢薫「クレムリン」として蘇生。ほぼ即連載となり今日に至る。一部ではとてもしっかりしたミセスと大評判。



しかし「ひとりで  
見る」は 実は敗北  
の文化なのです!!

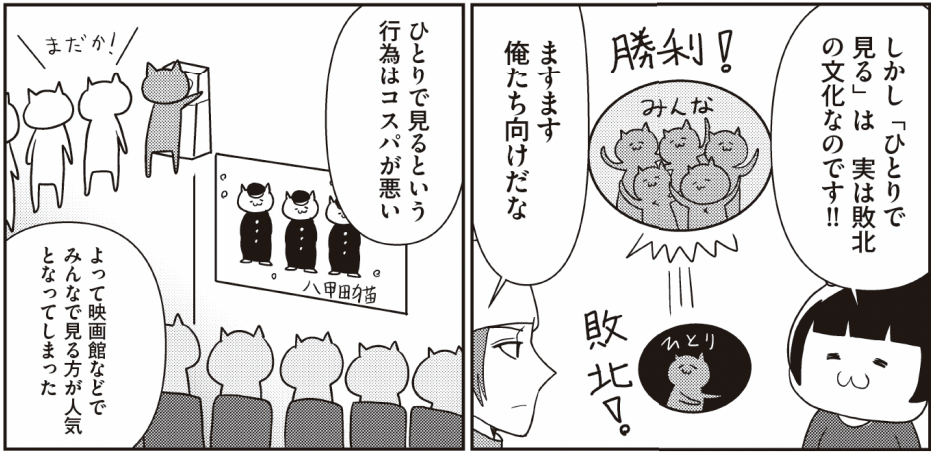
勝利!

ますます  
俺たち向けだな

ひとりで見るとい  
う行為はコスパが悪い

まだか!

よって映画館などで  
みんなで見る方が人気  
となっていました

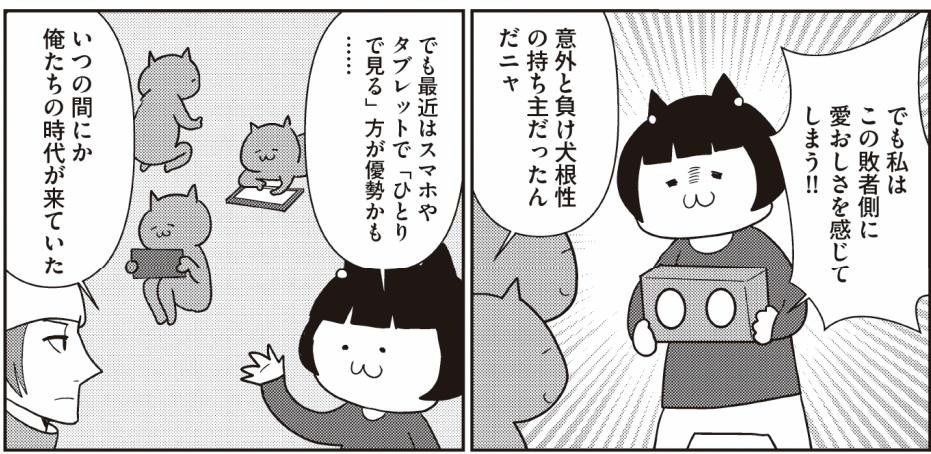


でも私は  
この敗者側に  
愛おしさを感じて  
しまう!!

意外と負け犬根性  
の持ち主だったん  
だニヤ

でも最近ではスマホや  
タブレットで「ひとり  
で見るとい」方が優勢かも  
……

いつの間にか  
俺たちの時代が来ていた



編集部だより 進化するのは実は退化なんだよとかイノベーションってのは敗者の歴史なんだよなことを得々と語り異性を口説いていた男を私は知っていますが、エンドウ学芸員の熱のこもった話を聞き、あいつが言っていたことは決してマユツバじゃなかった。写真と映像(を支える科学技術)の歴史はまさに優勝劣敗なのだ気づきましたが、表現や創作が面白いのは勝ち負けが簡単には決まらない点だと思います (F)

担当学芸員の覗き見ることへの執念と情念と怨念が夏休みに最適だニヤ。

子世、タサカ学芸員史上 最・難・解 企画！？！？ 『風景論以後』展を君たちはどう見るかの巻。

